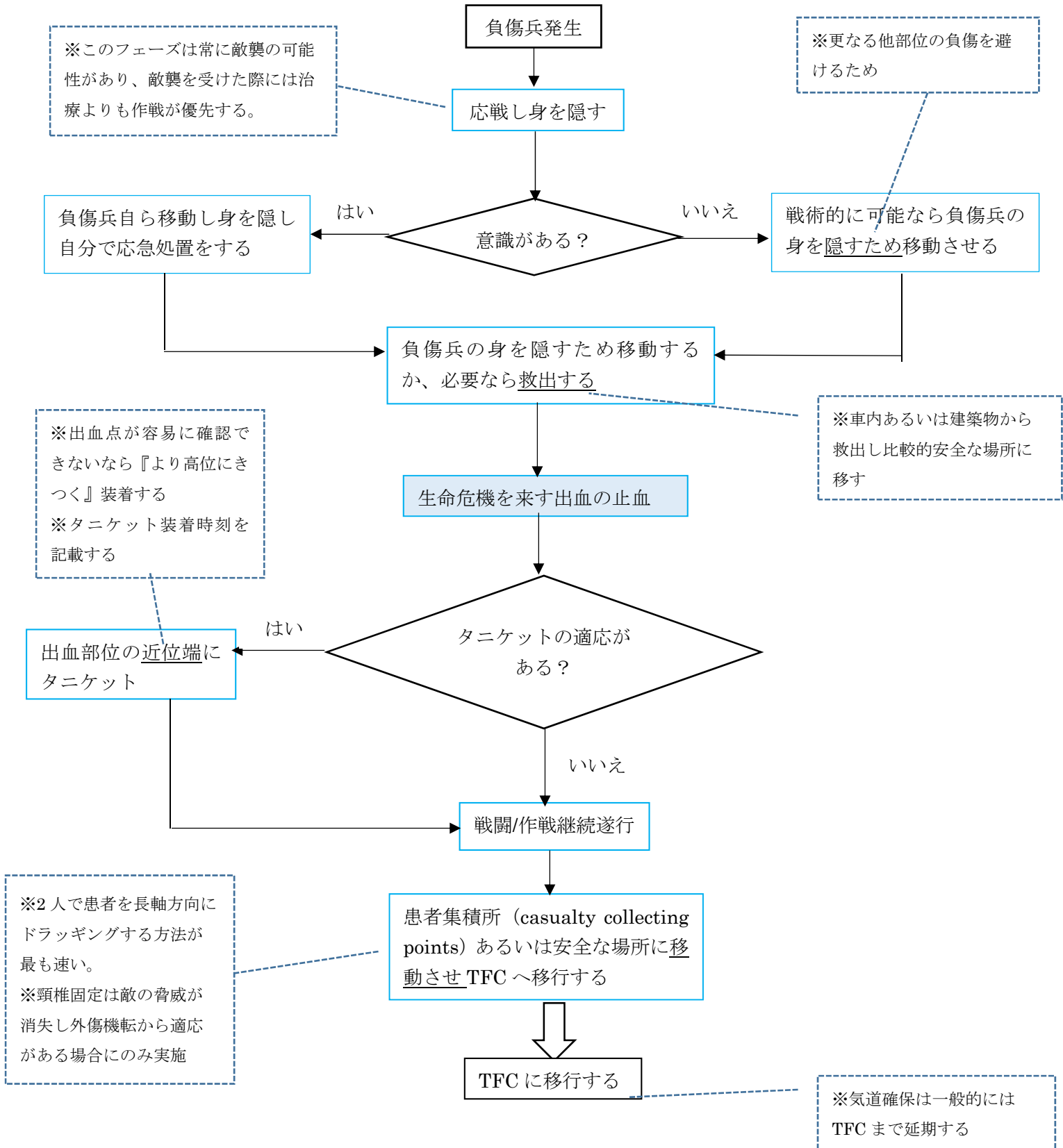


Care Under Fire



Tactical Field care

周辺に安全域を確保し状況認識

※敵襲を受ける可能性があり、その際は治療行為よりも作戦が優先する

必要に応じトリアージ実施

負傷兵に意識障害があれば

- ・武装解除し安全を確保
- ・通信情報の安全保障
- ・重要な作戦任務事項の再配分

多量出血

止血不能な四肢大量外出血ある
いは外傷性四肢切断がある？

いいえ

はい

四肢タニケット装着が可能？

はい

いいえ

以前装着した
タニケットを
きつく巻く、
止血できない
なら2本目の
タニケット装
着

頭部創
頸部創
結合部創

止血？

はい

いいえ

止血被覆材・剤の使用

結合部タニケ
ット装着

結合部タニケット装着可能？

はい

止血被覆材・剤を使って圧迫
するか、もしくは、直接圧迫

気道確保・
呼吸管理後
小出血の評
価

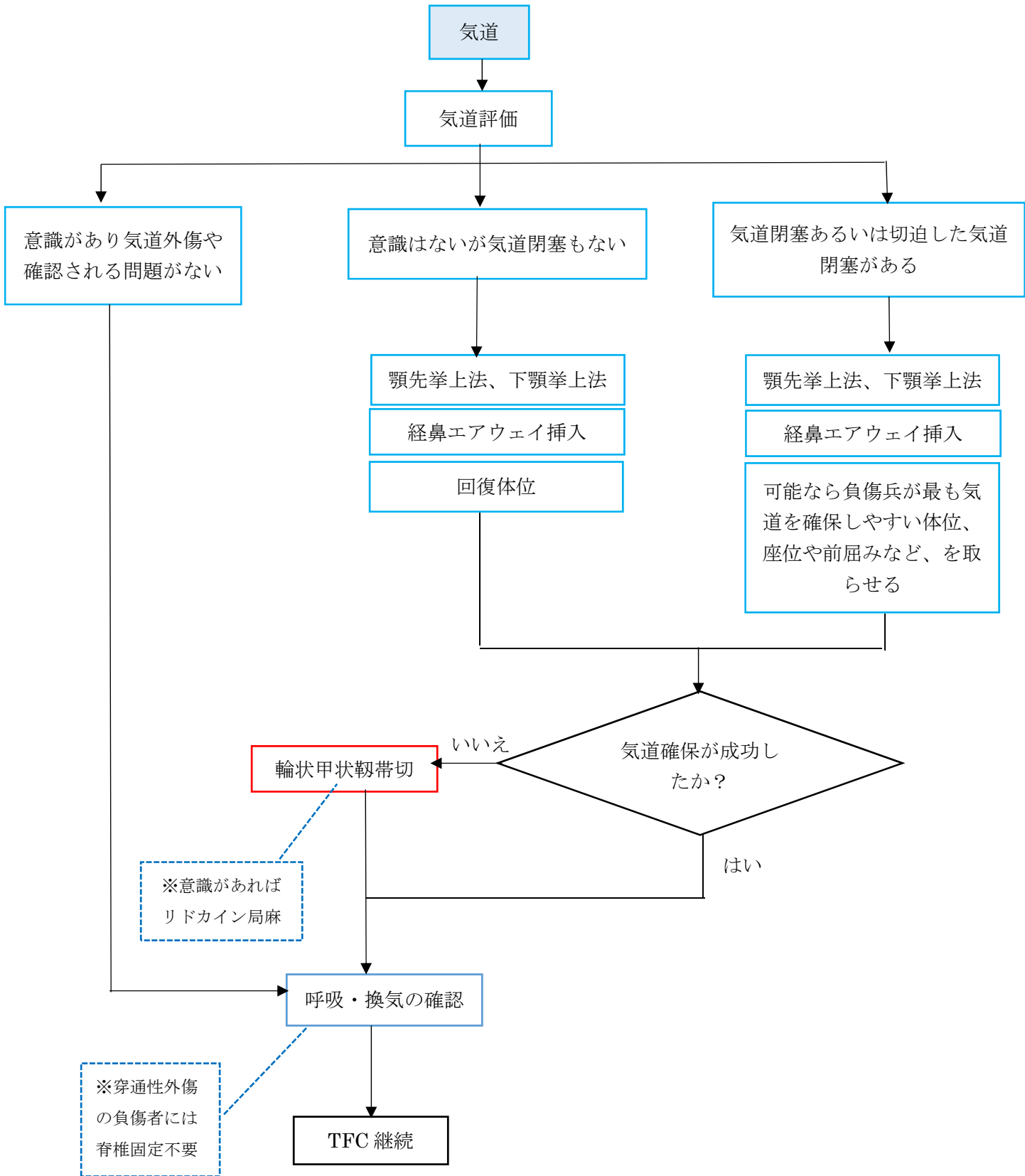
はい

止血？

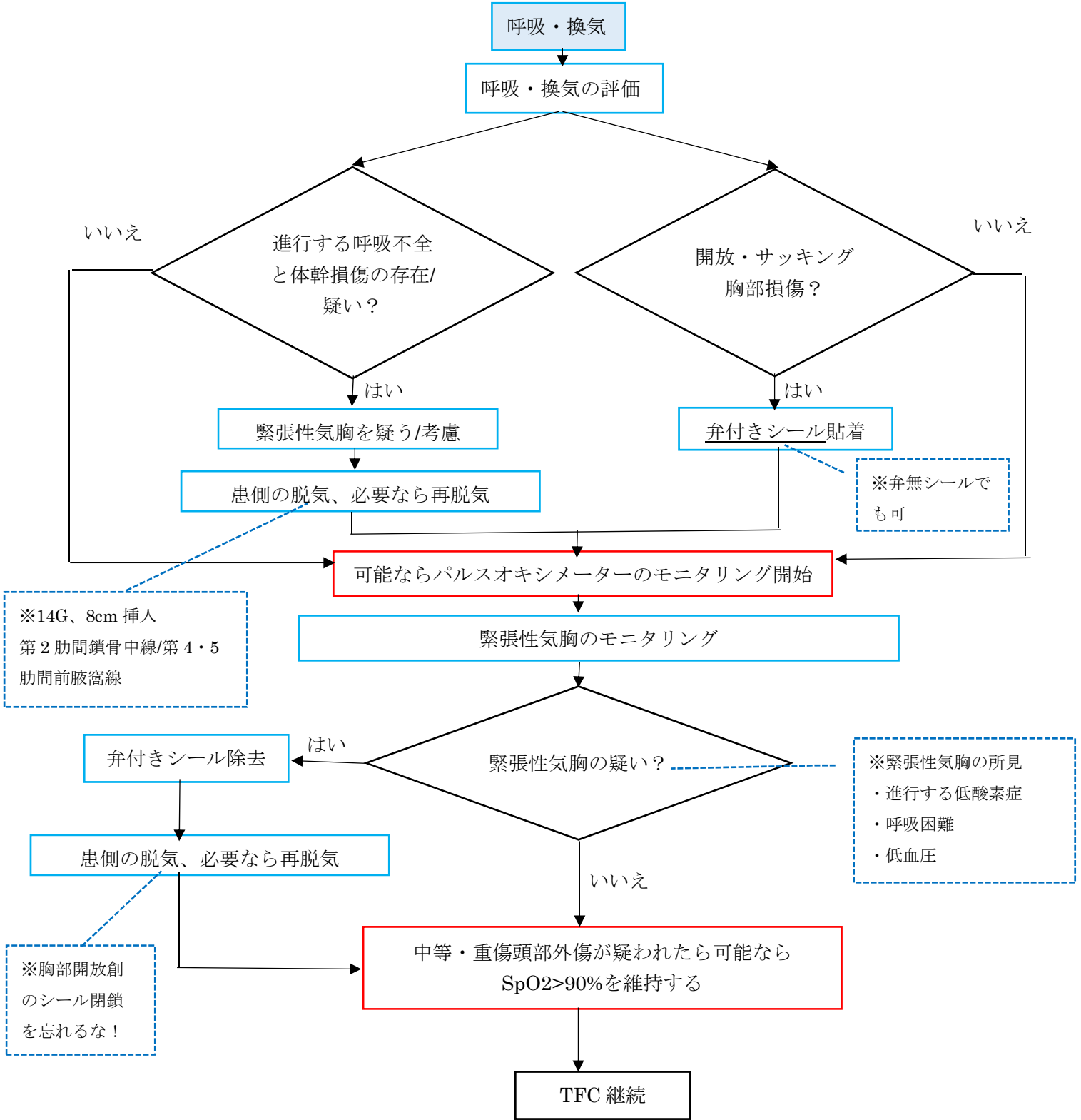
いいえ

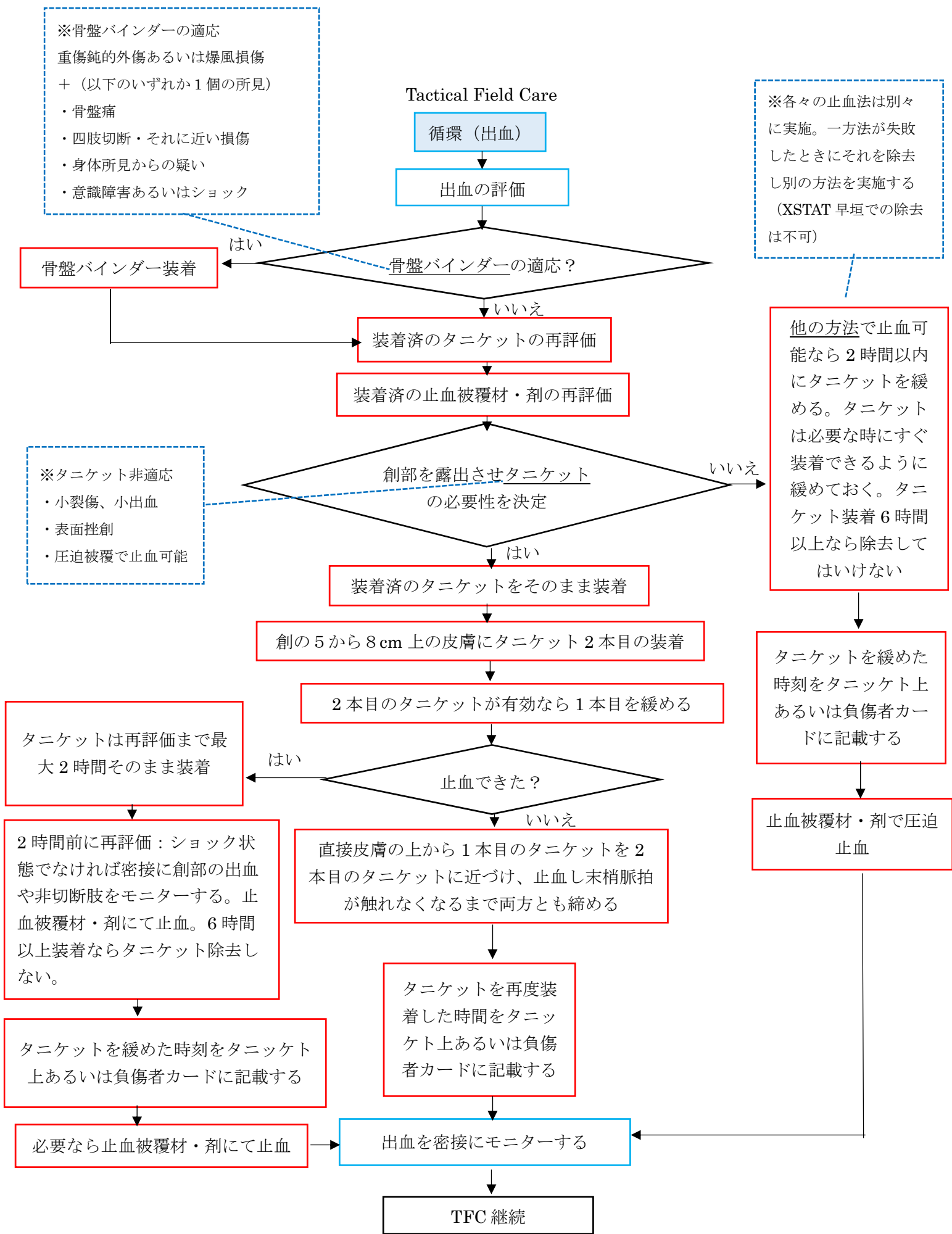
TFC 継続

Tactical Field Care



Tactical Field Care





※骨盤バインダーの適応
重傷鈍的外傷あるいは爆風損傷
+ (以下のいずれか1個の所見)

- ・骨盤痛
- ・四肢切断・それに近い損傷
- ・身体所見からの疑い
- ・意識障害あるいはショック

※各々の止血法は別々に実施。一方法が失敗したときにそれを除去し別の方法を実施する (XSTAT 早垣での除去は不可)

※タニケット非適応

- ・小裂傷、小出血
- ・表面挫創
- ・圧迫被覆で止血可能

他の方法で止血可能なら2時間以内にタニケットを緩める。タニケットは必要な時にすぐ装着できるように緩めておく。タニケット装着6時間以上なら除去してはいけません

タニケットは再評価まで最大2時間そのまま装着

2時間前に再評価：ショック状態でなければ密接に創部の出血や非切断肢をモニターする。止血被覆材・剤にて止血。6時間以上装着ならタニケット除去しない。

タニケットを緩めた時刻をタニケット上あるいは負傷者カードに記載する

必要なら止血被覆材・剤にて止血

直接皮膚の上から1本目のタニケットを2本目のタニケットに近づけ、止血し末梢脈拍が触れなくなるまで両方とも締める

タニケットを再度装着した時間をタニケット上あるいは負傷者カードに記載する

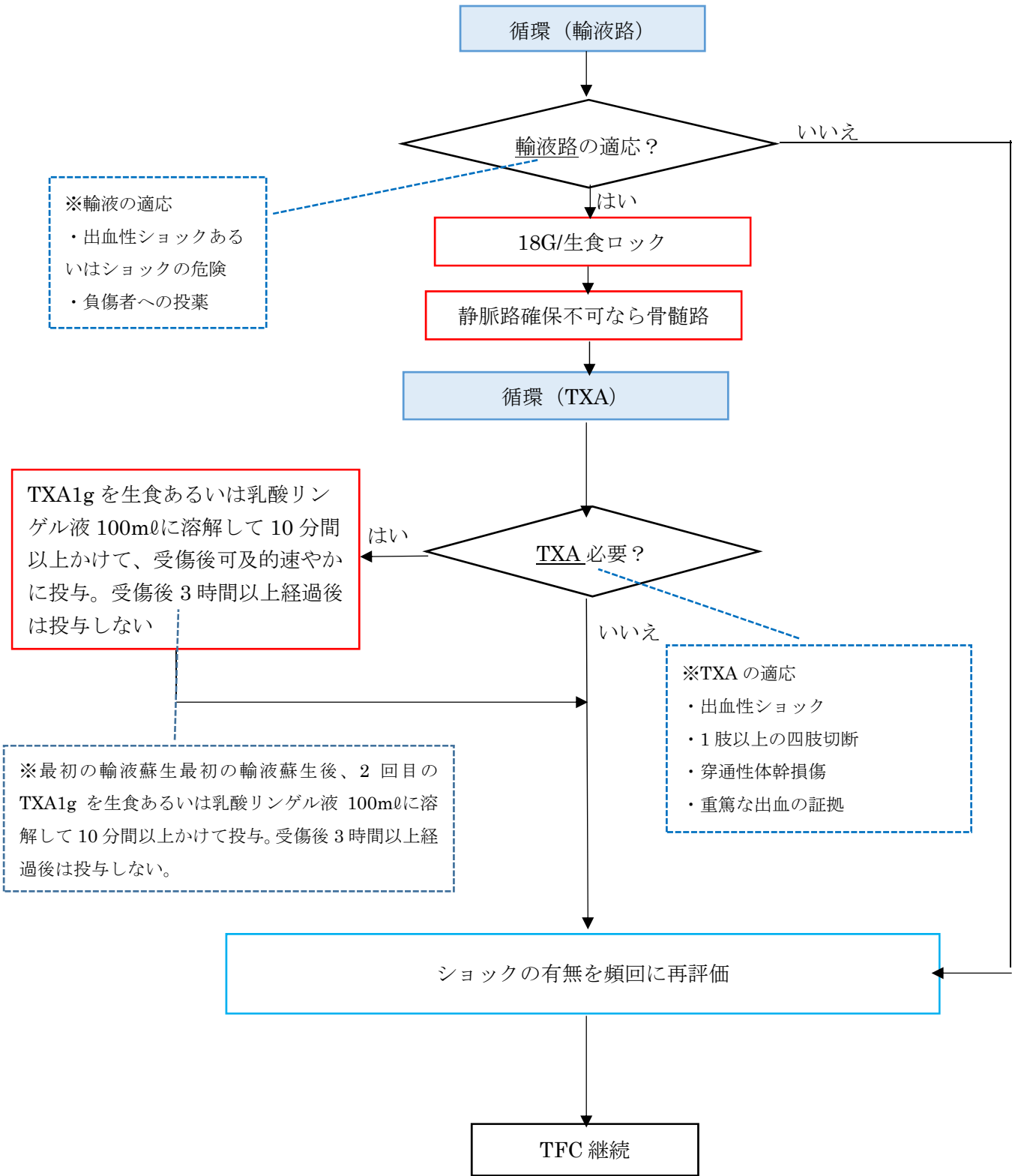
出血を密接にモニターする

TFC 継続

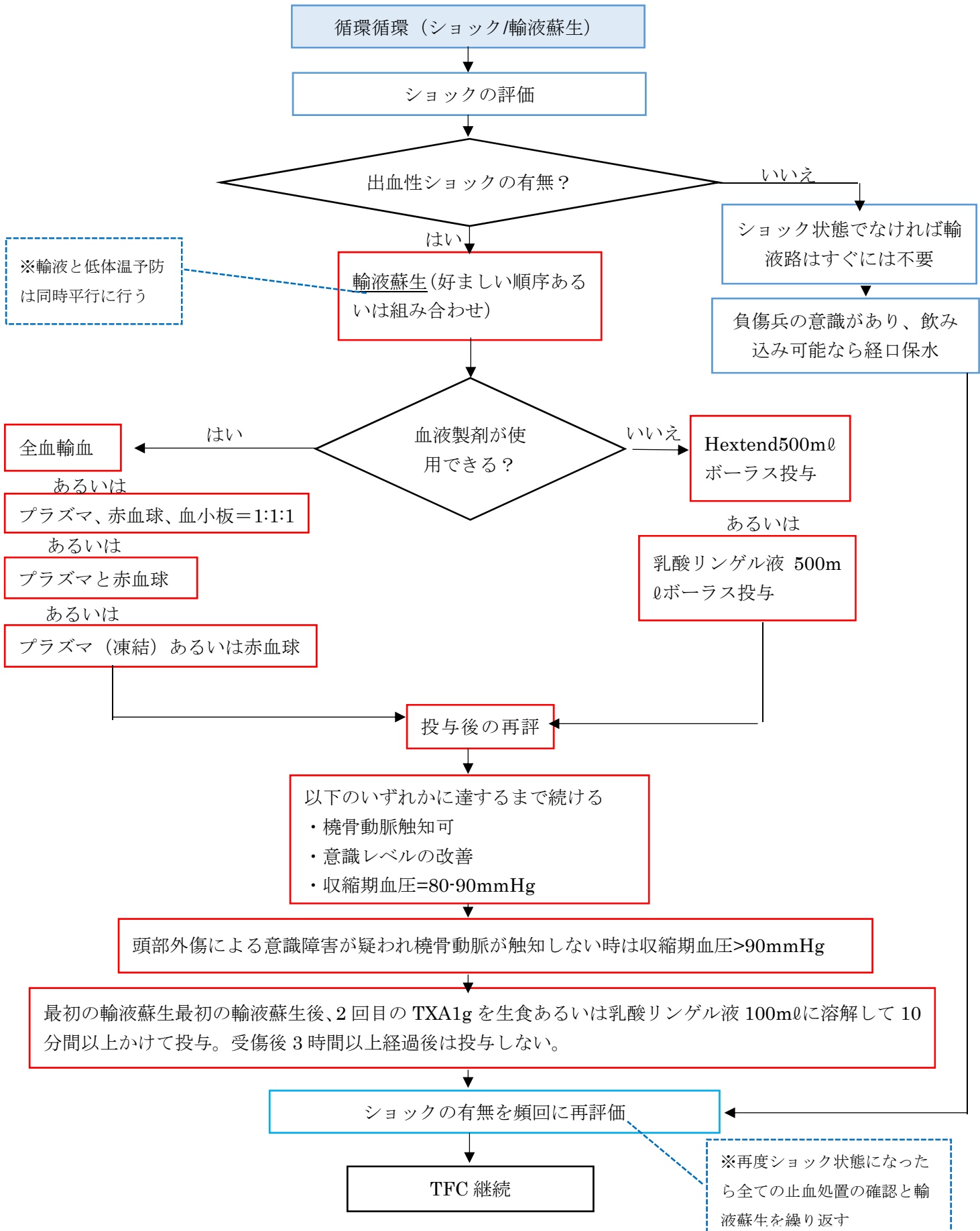
タニケットを緩めた時刻をタニケット上あるいは負傷者カードに記載する

止血被覆材・剤で圧迫止血

Tactical Field Care



Tactical Field Care



Tactical Field Care

低体温予防

負傷者の露出を減らす/熱貯蔵を増進させる

可能で許されるなら PPE を保持

可能なら濡れた衣服を交換

可能なら低体温予防キットを使う

毛布、ポンチョ、寝袋を使う。負傷者を濡らさない

可能なら暖かい輸液を使用する

穿通性眼外傷

穿通性眼外傷がある/疑い?

はい

野外で迅速な視力テストと記載

固い眼帯で覆う (圧迫パッチは使用しない)

モキシフロキサシン 400 mg を経口投与

いいえ

負傷兵をモニター

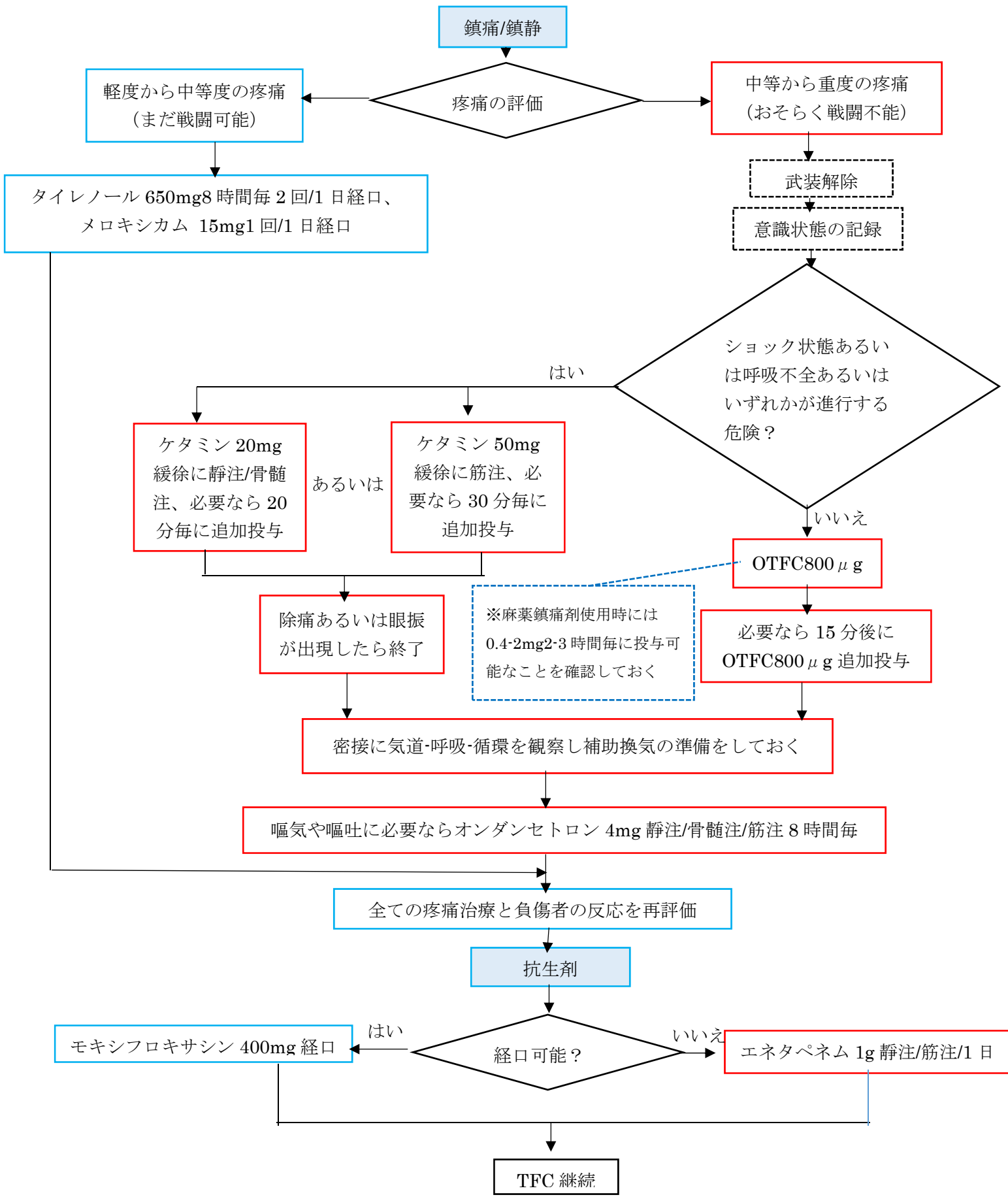
※患者監視は可能な限り早期から開始する

パルスオキシメーターは呼吸換気分野では臨床的なモニターとして最小限度の付属品である

可能かつ有効なら先端的非侵襲的電気モニターとバイタルサインの記録を開始する

TFC 継続

Tactical Field Care



Tactical Field Care

創部の観察と被覆

他部位の創の有無とチェック

止血の確認と創部の保護のため創の被覆

熱傷

熱傷?

いいえ

はい

顔面/頸部熱傷

はい

気道の状態と酸素飽和度測定を積極的に実施

呼吸困難や酸素飽和度の低下があれば早期の外科的気道確保を考慮

いいえ

9の法則を使って10%に近いTBSAを測る

熱傷部位の滅菌被覆

熱傷 > 20%

はい

いいえ

USAISR:成人熱傷の10の法則に従って乳酸リンゲル液あるいは生食あるいはHextend投与。
40から80kg成人では初期の1時間当りの輸液量= $\%TBSA \times 10m\ell/1時間$ (80kgを超える場合は10kg毎に初期輸液に100mℓ/時間を追加)

※熱傷ではHextendは1000mℓ以上投与しない、乳酸リンゲル液あるいは生食を追加する。
熱傷の輸液より出血性ショックの輸液管理が優先する。
低体温に留意する。

骨折の副子固定

他部位の創のチェック骨折の副子固定と脈の再チェック

TFC 継続

Tactical Field Care

情報伝達

後送の輪における負傷兵、戦略指揮官、医療職との情報伝達

負傷兵との情報伝達

勇気づける、安心させる、
可能な処置の説明をする

戦略指揮官との情報伝達

後送の調整の中で支援のため負傷者の状態と後送の必需品を提供する
TACEVACの手配のため後送システムと情報交換

後送の輪の情報伝達

可能な後送の装備について医療職と情報交換
外傷機転、受傷した外傷、所見、症状、実施した治療を伝達する

戦場で爆風損傷や穿通性外傷を受傷し、脈・呼吸がなく、他の生命兆候もない負傷兵には蘇生行為は行わない。

しかし、体幹あるいは多発外傷で、脈・呼吸がない負傷兵は治療を断念する前に緊張性気胸を確定/否定するため両側の脱気を行う

CPRの検討

記録

負傷者医療カードに臨床的評価、実施した治療、経過の推移、次のステップに必要な治療の記載

TFC 継続

Tactical Field Care

